

(書式 2)

学会参加報告書

提出日 2016年 8月 10日

学籍番号	14N0008	学系	トレーニング科学系
氏名	平野 智也		
学会等名 (正式名称)	21 st Annual Congress of the European College of Sport Science		
開催日程	2016年7月6日 ~ 2016年7月9日		
開催場所 (国・都市名)	Vienna・Austria		
発表演題名	Stroke variables of junior paddlers in 200-m sprint kayaking		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p><学会の全体の印象> 本学会大会では、各種スポーツの競技力向上を目指した研究が多く発表され、その中でも水泳やカヌー種目の単独セッション等も実施され、実践研究が大きく印象に残った。</p> <p><自分の研究と関連した発表とその内容> Kayak&Rowing セッションにおける RAMA 氏らの発表「PREDICTION OF SIMULATED 1000 M KAYAK ERGOMETER PERFORMANCE IN YOUNG ATHLETES」では、ジュニアカヤック選手のカヤックエルゴメーターにおける 1000m パフォーマンスの予測値を様々な指標を用いて検討した。その結果、カヤックエルゴメーターにおける 1000m の結果の変化には、最大無酸素パワーと最大酸素摂取量出現時のストローク頻度が強く関係することが示された。</p> <p><自身の発表への質問・コメント> ・200m スプリントの本研究結果から、500m スプリントへ示唆することは？ ・国際的なカヤック選手のストローク頻度はどの程度の値となるか？ ・カヤック速度とストローク距離との間に関係が示されないカヤック種目の競技特性はおもしろい</p>		

- ※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。
提出期限は学会終了後2週間以内とする。
本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。